

プロジェクト名称「学生支援FDコンテンツの開発」

1. プロジェクトの背景と目的

杉田郁代※1、井ノ崎 敦子※2、上月翔太※3、大沼泰枝※4
坂本智香※1、塩川奈々美※2、蝶慎一※4、吉田博※2

背景

- ・従来のFD (Faculty Development) は「授業の教授法」に偏重。「学生支援」に関するFDが著しく不足している。(SPOD-FDマップ開発の成果※5より)
- ・相談支援の非専門家である教員が、もっとも困難な事案の最前線に立つ。
- ・従来のFD体制との大きな乖離

目的

- ・「個別の学生支援」がクラス担任・研究指導教員に一任されるのではなく、(専門的學生支援機関と連携しつつ) 部局内での教職協働によって組織的に担われる学生支援体制及び教学マネジメント体制の確立を目的としたTipsの開発を行う。

対象 学長、学部長、学科長、コース長、クラス担任・研究指導を担う教員、
カリキュラムマネジメント・学生支援に関心のある教職員

2. Tipsの内容(案)

- ・不登校・成績不振の予防を目的とする内容
- ・「クラス担任個人の努力」に依存した学生支援体制から、教学マネジメントを基盤とした「部局による組織的な学生支援」へとシフトできるように、その具体的な方策を紹介する。
- ・例えば、部局の教員が複数名で授業を担当し授業内での学生支援の早期開始を実現する教育体制の構築、専門家によるコンサルテーション機能の紹介、組織における集団守秘義務などを取り上げる。

※1高知大学、※2徳島大学、※3愛媛大学、※4香川大学、※5「SPOD-FDマップ作成までのプロセスとその成果